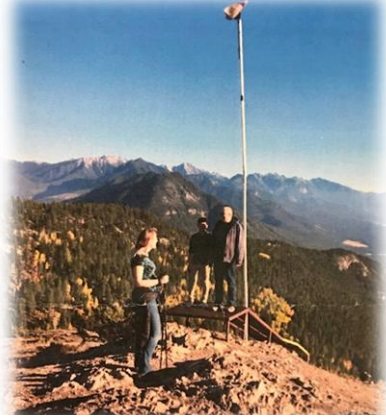


Kyokuryo Exchange Program

「旭陵留学生プログラム」 Newsletter

岐阜県立中津高等学校
同 窓 会
平成30年1月22日
Vol. 4

現在カナダに留学中の第13期生 伊藤智紀君、小南菜子さんからジャーナル(10月~11月)が送られてきました。この時点で渡加して3か月が過ぎたところです。英語の聞き取りには慣れたものの、話すことや友人を作ることにはまだ多くの課題があるようです。お二人の近況を報告します。



ロッキー山脈へのファミリー旅行

***** 伊藤智紀君 *****

ホストファミリーはとても活動的でいつも何か楽しいことをしています。そのおかげで既にたくさんの経験をすることができラッキーです。カナダに来たばかりの頃に誕生日があったので、ファミリーが素敵なパーティーを開いてくれました。他の日本人の生徒も招待され一緒にホットドッグ、マッシュマロ焼き、ケーキを食べました。誕生日の胴上げしてもらいました。学校ではバスケットのチームに入りました。春にはサッカーに入ろうと思っています。ハロウィーンでは10年生の中でハロウィーン仮装のベストドレッサーに選ばれました。ホストファミリーとの関係も順調です。両親は毎日仕事で忙しいので家事の分担をしています。一緒に買い物に出かけたり、自分の部屋とお風呂の掃除をしています。週に一度夕飯作りも担当しています。チキンカレーはとても喜ばれました。



誕生日ケーキ

カナダの学校は少し大学と似ていて、自分の好きなクラスをとって(自由時間も入れることができる)そのクラスに行って授業を受けます。僕の学校では1時間が1時間7分で、授業と次の授業の間が4分です。制服はなく私服で過ごします。カナダはとても寒いですが、その分室内は完全暖房で半袖で過ごすことができます。僕が一番大きく違いを感じたのは、「Power School」というサービスで、ネット上(アプリでも)

自分の成績をチェックでき、自分のレベルをいつでも知ることができます。



ハロウィンでのTrick or Treatの仮装

***** 小南菜子さん *****

ホストファミリーは私を実の子供のように接してくれます。いつも助けてくれることにとても感謝しています。毎週日曜日には一緒に教会に行きます。放課後は一緒に散歩することもあります。家族は私が英語を少しでも話せるよう促してくれます。まだ、家族に会話のリードしてもらわなければなりません、シャイな私をサポートするために人付き合いについて毎日ちょっとした目標を立ててくれます。これで自信が付き、新しい友達ももっと作りやすくなればいいと思います。

友達に関していえば、何人か友人はできましたが特別な友人はまだいません。毎日違う友人とランチを食べているので、特別な友人を作りたいです。

学校ではバンドに入っています。またファーストネーション(北米先住民民族)についての活動に参加しています。ボランティアにも積極的に参加していきたいです。

勉強に関すること、話して英語力を上げることなど課題も

新雪が木を覆っています。学校にて

たくさんあり大変なこともあります。イベントの多いこの時期は楽しいことも経験しました。それはアフタヌーン・コンサートです。地元 Kenora の女性ボーカルグループのCD発表パーティーとコンサートに行き楽しく過ごしました。また、日本にいる家族のためにちょっとしたクリスマスプレゼントをショッピングしたり、クリスマスパレードを見たりもしました。アフタヌーンコンサートはたくさんの生徒が参加する交流の場なので、今後もたくさん参加したいと思います。



ハロウィーン・デコレーション

学校にて